

「第 21 回 製剤機械技術学会 仲井賞」
受賞者の選考結果について
The 21st NAKAI Award of Japan Society of
Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会 委員長 瀬田 康生

Yasuo SETA

Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立 10 周年を機に、2000 年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

仲井賞選考委員会において、応募内容について新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第 21 回 製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

記

・受賞者：杉本 昌陽、古川 諒一、山田 亜寿実（田辺三菱製薬株式会社）
田中 伸宏、村田 克浩（三菱ケミカルエンジニアリング株式会社）

・受賞業績題目：固形製剤の連続生産システム構築に向けた取り組み

・受賞理由：杉本氏らは連続化が困難とされている湿式造粒による錠剤の連続生産システムの構築を行った。本システムは完全連続式の気流式乾燥機を採用している。気流式乾燥機は世界的にも製薬産業で使われてきた実績はないが、バッチタイプ（流動層乾燥機）と比較して安定した連続運転が可能であり乾燥工程を短時間（1 分以内）で完了させることができる。気流乾燥装置に多く見られる課題である、粉体付着、乾燥品の品質バラつき（粒度、水分量、かさ密度等）を短時間の乾燥工程の中で制御するため、乾燥造粒顆粒の物性データを即時に造粒部へフィードバックさせることが可能である。今回の取り組みは「製剤技術」と「エンジニアリング技術」の連携・融合を、田辺三菱製薬(株)と三菱ケミカルエンジニアリング(株)で見事に成し遂げたものである。両社の持つそれぞれの技術及びノウハウを結集し、共同開発を進め、湿式造粒プロセスを有する連続生産システムの構築に成功した。本システムは連続生産技術の更なる発展に、大いに貢献することが期待される。

以上のように、本業績は、新規性、実用性、製剤生産工程における貢献度から仲井賞に相応しいと考える。

以上